



学生の環境団体「Clean Green」がクラウドファンディング でコンポストキット作り コロナ禍、家庭に癒やし届ける

家庭で出る生ごみを堆肥化する「コンポスト」のキットを名城大学生の環境団体「Clean Green(クリーン・グリーン)」が作り、販売する活動を進めています。「気軽さ」と「多機能」をコンセプトに、家庭で出るコーヒー、紅茶、緑茶のかすなどを段ボール箱の土に混ぜ、微生物の力で2週間ほどで堆肥化。段ボール箱はプランターとして使え、できた堆肥を肥料にしてハーブや野菜の種をまいて栽培を楽しむという趣向です。

新型コロナウイルス感染症の拡大で自粛生活が続き、「おうち時間」の過ごし方の一つとして家庭菜園が人気です。Clean Green はクラウドファンディングで活動資金を集め、コンポストを返礼品として送り、ごみを減らす取り組みをしています。コンポストキットは3000円でネット販売する計画です。

キットの中身	段ボール箱、コンポスト用の土、家庭菜園用の土、種(季節に合わせて選びます)
Clean Green とは	代表の三輪久美子さん(法学部4年)が2019年5月設立。同年6月、アウトドアブランドのPatagoniaと名城大学キャンパスで共同イベントを開催した際、いらなくなった服の交換会を実施。2020年度はコロナ禍でキャンパス内での新入生勧誘ができなくてもオンライン新歓で会員を増やした。「地球にやさしいをあたりまえに」をコンセプトに現在13人が活動している。クラウドファンディングの詳細な経緯はQRコードから。
取材方法	キャンパスは入構規制中のため、オンラインでお願いします。広報課までお問い合わせください。

